

【社会科学報】

＜中国人民大学＞

『中国人民大学・一橋大学共同シンポジウム(2009)』開催のお知らせ

『中国人民大学・一橋大学共同シンポジウム(2009)』が、2009年10月31日(土)午前8時半より、中国人民大学逸夫ホールで開催されます。(シンポジウム日程については、追って掲載します)

一橋大学は、日本で最初に設立された大学の一つで、世界的に名高い社会科学分野では世界的に著名な総合大学です。創立130余年にわたり、日本各界、とりわけ商工・金融業界で卓越した人材を輩出し、日本の発展を支える人材育成に寄与してきました。大平正芳元首相をはじめ、日本の政財界のリーダーの多くが、一橋大学出身であり、『日本のハーバード』とも呼ばれています。日本の大学ランキングの数多くの分野でトップの地位を獲得しています。中でも、経済学と商学は伝統的に強い学部です。

『世界不況と中日の役割』をテーマとする中国人民大学と一橋大学による今回の共同シンポジウムは、中日両国の経済学の強みを合わせ、科学研究の切り口から世界不況の解決の道を探ることを目的にしています。

中国人民大学経済学院
中国人民大学深セン研究院
2009年10月23日